

論点整理にむけて

前回の検討チームにおける議論から主に A～C のテーマに分けられるのではない
か。各テーマについて、さらに議論を深めてはどうか。

A 介護保険制度への移行について

○ 利用者負担

65歳前から障害福祉サービスを利用していた者の利用者負担についてど
う考えるか。仮に利用者負担を低所得者については、発生させないとすると、
どのような課題が考えられるか。

○ サービス支給量の減少

介護保険サービスの支給量・内容では十分なサービスが受けられない場合
には、一律に介護保険サービスを優先的に利用するものとはせず、市町村に
おいて、申請者が必要としている支援内容を介護保険サービスにより受ける
ことが可能か否かを適切に判断することとなっており、自治体の運用につい
ては、先日事務連絡を発出したとのこと。一方、自治体が障害福祉サービス
を上乗せする場合、国庫負担基準の課題あるとの指摘がある。

- ・ 介護保険対象者の国庫負担基準を見直すと、どのような課題が考えら
れるか。

○ 介護保険事業者による障害者ケア

高齢者人口が増加する中で、一般高齢者施策における社会資源、医療基盤
や医療人材を地域で共有することは一定の合理性があると考えられる。

- ・ 高齢障害者を介護保険事業所がケアする上で、事業者及び利用者はそれ
ぞれどのような課題を抱えていると考えられるか。
- ・ 介護保険制度と障害福祉制度をどのように結びつけていけば、事業者及
び利用者が効果的なサービスを受けられると考えられるか。

○ 65歳まで障害福祉サービスを利用していなかった者が65歳以降に障害福祉 サービスを利用することについてどう考えるか。

- ・ 障害福祉独自のサービス（同行援護等）については留意するとして、介
護保険法で対応すべき者についても障害福祉サービスを利用すべきこと
についてどう考えるか。

例：グループホームは、その対象者について「身体障害者にあつては、65
歳未満の者又は65歳に達する日の前日までに障害福祉サービス若しく
はこれに準ずるものを利用したことがある者に限る」こととしている。

○ 上記問題を考えるに当たって、介護保険優先原則（第7条）の見直しを行い、選択制にすることについて、どう考えるか。仮に選択制とすると、どのような課題があるか。

B 障害者の心身機能の低下による障害福祉サービス事業が抱える課題について

○ 高齢化などにより、重度化している障害者について、対応しきれていないとの指摘があるが、既存の事業所ではどのような課題があるのか。対応できない高齢障害者の状態像はどのような人なのか。

○ 高齢者の日中支援活動

- ・ 高齢者で日中支援活動への参加が難しくなっているとの指摘や支援施設やGHで日中支援活動ができずに、職員が張り付きになり、日中支援活動の人繰りができないとの指摘がある。高齢者の日中支援活動のあり方についてどのように考えるか。

C いわゆる「親なき後」について

- ・ 「親なき後」若しくは親の高齢化により、どのような問題が生じるのか。
- どのような準備・環境作りが必要と考えるか。障害者自身、親などの支援者、行政はそれぞれどのような役割を果たすべきか。